

## Small CoRE Project 最終報告書

関金町における買い物の場の存続×多世代交流プロジェクト  
～関金地区振興協議会との連携による「ふれあい市場」の開催～

文責：学生メンバー一同&顧問教員

### 1：活動の狙いと経緯概要：学生団体「せきがねであそばいや」を結成して「再」スタート

・2023年度の鳥取大学の必修授業「地域調査プロジェクト」が発端で結成

：買い物困難者問題をテーマに2023年度から倉吉市関金町に關与した学生が、その後もこの実践的課題や地域に關与したいと考えた学生が有志で団体（「せきがねであそばいや」）を結成し、2024年4月から活動を再開。

→関金ストアの開所など関金の買い物環境に関する動向を考慮しつつ、地域活性化に関わる活動内容を検討。

→地域創造コースの3年生（6名）と4年生（1名）と顧問教員で活動。2024年4月～10月まで代表を務めた4回生の多忙な事情を踏まえ、11月からは3年生4名による共同代表制へ移行、現在は引き継ぎも含めて検討中。

### 2：活動実績と成果

#### （1）学生団体同士の定期的な会議と現地での情報交換に基づいた2024年度イベントの方向性を検討

・2023年度とは異なる状況に合わせた（地元の方や関金ストアに配慮した）イベント内容を検討

\*学生の定例会議（5月～8月まで週1・60分）と現地で情報交換会（6/7・7/24）

#### （2）鴨川中学校と連携したイベントの具体的な検討と作業を開始

・関金地区振興協議会等と調整し、大学生と地元の中学生在が交流・地域学習を進め、2024年度のイベントを検討する運びへ

\*8月～9月、鴨川中学校の「総合」の授業時間に鳥大生と中学生在が合同学習チームを4班つくり、10月のイベント内容を検討（野菜販売・ゲームコーナー・地元マップ作成・地元ツアー班）



#### （3）「関金ストア ふれあい市」を開催

・日時：2024年10月6日10～12時

→日本海新聞（2024年10月12日）に掲載

##### 【主な活動内容】

#### ①15名の地元農家の野菜販売・PR

収益は各農家へ全額還元の非営利イベントを実施  
→当日の売上96070円/13名の生産者へ還元



#### ②関金ストアへ来客を導線する仕組みの構築と実施

関金ストアのレシートと交換可能な豚汁と景品提供

→関金ストアの住民への周知と販売促進効果アリ

#### ③多世代が遊べるようなゲームコーナーの実施

→水中コイン落としやモルックなどを実施

#### ④鴨中と鳥大生による関金観光マップ作成・配布



#### ⑤高齢者・大学生・中学生が同乗する観光ツアーの実施



\* 出典 ([https //www.city.kurayoshi.lg.jp/8743.htm](https://www.city.kurayoshi.lg.jp/8743.htm))

\*制作は鳥大生と鴨中生という記載は残り、倉吉市行政は協力という表記



⇒将来的な活動の資金調達の回路が、市の協力により、大学（スモールコアPJ）だけに依存しない体制が創造

⇒大学生含む地域外部の協力者の動きを募りながら、地域内部の関係者で自走する動きも涵養する一手に着手